

経済建設常任委員会
視察研修報告

視察日

平成24年2月2日～3日

視察先

栃木県那須烏山市役所
宇都宮市ろまんちっく村

視察目的

定住促進条例・空家バンク制度・企業誘致等について

視察内容

経済建設常任委員会は、平成24年2月2日に栃木県那須烏山市商工観光課で実施されている定住促進制度・空き家等情報バンク制度・企業誘致について、翌日は宇都宮市ろまんちっく村で実施されているクラインガルテンを視察研修しました。

98人の豊かな自然環境、貴重な歴史と文化遺産にあふれた町です。那珂川が平野部を貫流し、県都宇都宮市へは30キロメートルの距離にあります。議員の定数は18人です。昨年の東日本大震災は2970棟の被害及び台風15号の被害を受け、今でも復旧が続いているそうです。

さて2日(木)は那須烏山市庁舎内で、商工観光課より、定住促進制度・空き家情報等バンク制度・企業誘致等の取組みについて説明を受けました。定住奨励金交付実績は、平成22年度においては、転入者で新築18件、中古6件・空き家2件、在住者で新築57件・中古11件・空き家1件になり、総額1984万5千円になっていそうです。住宅リフォーム助成事業につきましては、平成23・24年度の2力年の制度で平成23年の実績で20件の申し込みがあるそうです。制度の内

容・効果・周知・PR等を工夫して行うことなど熱心に各委員も質問され、美浦村でも定住促進奨励金が平成24年1月2日より、住宅リフォーム助成事業を4月から行う予定であり、大変参考になりました。また、国の重要無形民俗文化財である山あげ祭を紹介している「山上げ会館」を見学いたしました。歴史は、450年前に遡り当時地方に流行した疫病の災厄を避けようと、時の烏山城主那須氏が午頭天王(ごすてんのう)を八雲神社に祀りその祭礼が次第に大規模になり、現在の絢爛豪華な野外歌舞伎舞踏になったそうで、毎年7月第4土曜日から含む金曜日から日曜日までの3日間県内外から多くの観光客で賑わっているそうです。



那須烏山市役所 烏山庁舎前での記念撮影